

## 農林水産事業からのお知らせ - その108 -

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

### TOPIC 簡易型サイロによる空隙と補助剤を用いた新たな発酵飼料調整法

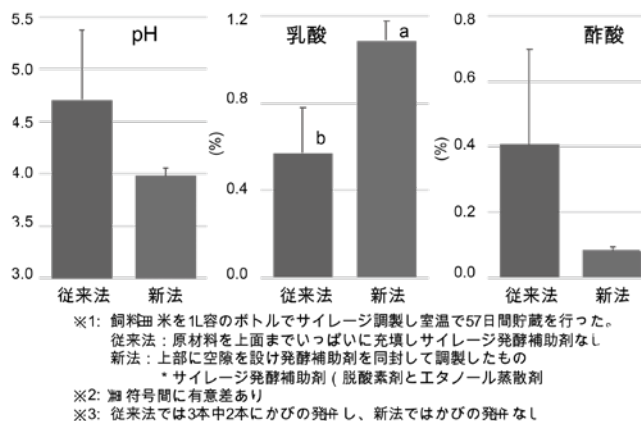
公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術を「技術の窓」としてとりまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。

飼料用米や発酵TMR等の発酵飼料を調製するサイロとして、フレコンバックやドラム缶などの簡易型のサイロが普及しています。これらの簡易型サイロは、初期投資の削減、運搬が容易であること、飼料原料や家畜の飼養規模に応じて種々の容量で調製できるなどの利点があります。一方で、簡易型のサイロは、嫌気性の確保が困難なために、かびの発生やサイレージ発酵が十分に進まない事例が報告されています。このような状態を解消するために、サイレージ発酵が安定して亢進(こうしん)するとともにかびの発生を抑制する調製技術を開発しましたので紹介します。

#### ☆技術の概要

1. 飼料原料(飼料用米等)を容器の8～9割程度に留め上部に空隙を確保し、サイレージ発酵補助剤(脱酸素剤とエタノール蒸散剤)を同封してサイレージ調製を行うと、サイレージの発酵品質が向上しかびの発生を抑制します。飼料用米サイレージ調製の実験では、発酵品質が向上(pHの低下、乳酸および酢酸濃度の増加)し、かびの発生状況も改善されました(図)。

【図】飼料用米サイレージ調整時の従来法と新法での発酵品質の違い



#### ☆活用面での留意点

1. サイレージ発酵補助剤(脱酸素剤とエタノール蒸散剤)は、日本化薬フードテクノ社(群馬県高崎市)より発売されています。脱酸素剤: モデュランW-5L, 20 L、原材料 1kgあたり約0.6～2.6円 エタノール蒸散剤: オイテック L-24 G, L-42G、原材料 1kgあたり約0.5～4.0円(原料に比例して同封します。また、容量は目安でありサイロのガスバリア性に依存します。
2. 詳細については、農研機構「お問い合わせ窓口」(<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>)までお問い合わせください。

(農研機構動物衛生研究部門上垣 隆一)

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。  
 ⇒ [http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html)

### (株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階  
 TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(8月は1日と15日)

場所: 三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(8月は2日と16日)

場所: 庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(8月は10日)

場所: 日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



# 乳用子牛等の出生頭数の予測を開始します(上)

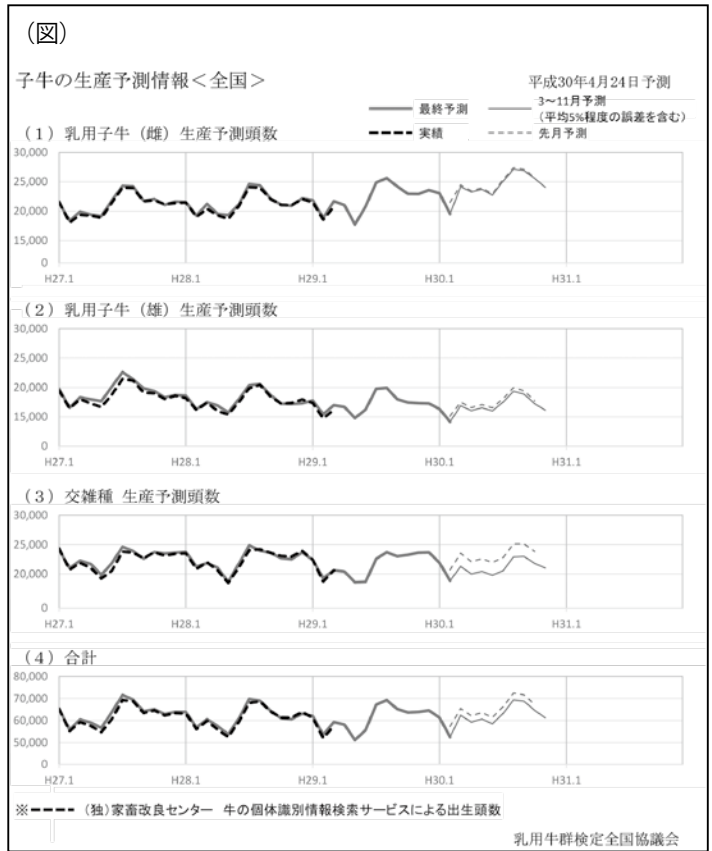
今年5月から、乳用牛群検定データをもとに、検定を行っていない農家も含めた全国の子牛の生産予測を開始しました。誰でも無料で利用出来るよう乳用牛群検定全国協議会のホームページ(<http://liaj.or.jp/kyogikai/>)で公表しています。もちろん、家畜改良事業団のホームページでも閲覧することができます。(http://liaj.lin.gr.jp/「牛群検定」→「乳牛最新情報」)この予測情報は、8カ月前までに乳用牛から出生する子牛を雌、雄、交雑種に分けて、それぞれの出生頭数を予測するものです。区分は、都府県、北海道、全国の3区分での予測となっています。また、予測には平均で5%程度の誤差を含みます。

## 1. 四月末時点の予測

図は4月末時点の全国での乳用種(※)雌、乳用種雄、交雑種および合計の出生頭数の予測事例です。出生の合計数では、平成29年12月～平成30年11月までの1年間で746,500頭の出生予測となっており、平成29年との比較(以下、「対前年」)で102%と子牛の増頭傾向が見えます。これは通常、暑熱期である8月の授精は繁殖成績も思わしくなく、その妊娠期間から翌5月は毎年、出生頭数が減少しますが、昨年の北日本、東日本で冷夏であったため5月の減少が食い止められたことが全体的な子牛増頭の要因と考えられます。

一方、子牛の種類毎に見ると、交雑種255,100頭(対前年98%)、雄は202,400頭(対前年97%)といずれも前年割れしています。これに対して、雌は288,800頭対前年109%と大きく頭数を伸ばす予測となっています。予測どおりであれば、平成21年度をピークに減少していた乳用雌子牛が平成29年度から8年ぶりに増加に転じ、平成30年度は28万頭を越えるという予測となっています。

(※) 乳用種:ホルスタイン種、ジャージー種およびその他の乳用種の合計



### <参考>最近の乳用種子牛の出生傾向

乳用種:ホルスタイン種、ジャージー種、その他

平成16～28年度 : 家畜改良センター 牛個体識別全国データベースより

平成29年度以降の予測 : 乳用牛群検定全国協議会

	乳用種 ♀	(性比)	乳用種 ♂	(性比)	計
平成20年度	268,389	48.5%	284,740	51.5%	553,129
平成21年度	279,892	49.1%	289,796	50.9%	569,688
平成22年度	270,308	49.6%	274,289	50.4%	544,597
平成23年度	260,317	50.0%	260,423	50.0%	520,740
平成24年度	267,351	50.7%	260,091	49.3%	527,442
平成25年度	268,119	51.8%	249,830	48.2%	517,949
平成26年度	254,277	52.2%	233,144	47.8%	487,421
平成27年度	254,407	53.4%	221,941	46.6%	476,348
平成28年度	253,903	54.9%	208,531	45.1%	462,434
平成29年度 (予測)	270,300	56.9%	204,900	43.1%	475,200
29.1～29.12 (予測)	266,100	56.2%	207,800	43.8%	473,900
29.12～30.11 (予測)	288,800	58.8%	202,400	41.2%	491,200

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)岡橋までお問い合わせください。